子ともがまんなか みんなで子育て



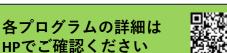
港北区地域子育て支援拠点どろっぷは、主に0歳から未就学児・妊婦とそのご家族、地域で子育てを応援している方のための施設です。

開館日時: 火曜日~土曜日(隔月1回日曜開館あり) 9:30~16:00 祝日・年末年始・特別休館日あり

https://www.kohoku-drop.jp/



~子どもがまんなか、みんなで子育て~





助産師と みんなの知恵袋

母乳・ミルク・離乳食 などはもちろんのこと、 産後の体調のことなど を助産師さんとみんな で話しましょう。

新横浜出張ひろば りぼん

0歳から未就学児・妊婦さんとそのご家族 が、あそんだり、おしゃべりしたり、交流で きる場です。

- *ダッドウェイラーニングセンター新横浜
- *オルタナティブ生活館 5階「とびはね」 (会場によって開催日時が異なります)



どろっぷみらいカフェ

利用者とスタッフがどろっぷの

「みらい」を考える、気軽に立ち

寄れるカフェのような集まりです。

あっぷっぷ

初めての子育てがスタートしたばかり の「自分」と赤ちゃんのためのプログラム。 ゆったりとした時間を過ごせます。 どろっぷ以外に、公立保育園や 地区センターでも開催しています。

ひととき預かり

ひろばでの一時預かり。 いつもの場所での預かり なので安心! 預かり時間の前後もひろば で遊べます。

「ちょっと」手を貸してもらいたい・・・ 「ちょっと」手伝ってあげたい! みんなの「ちょっと」をつなぐ 缶バッチ活動。 「ちょっと」のお時間でお気軽に ご参加ください。

出産準備プログラム

妊婦さんや先輩家庭のリアルな 生活を知ることができたり、産後に 役立つヒントをもらえます。 妊娠7~9か月頃の方、第一子の 方も、第二・三子の方も、ぜひ! 保育園とのコラボ企画や、産前トーク は第二子以降の回もあります。

横浜子育てパートナー

皆さんが足を運びやすい場所でお会い出来たら と思い、商業施設や子育てサロンのご協力を

いただき、出張相談会も毎月開催しています。

スケジュールは、どろっぷHPやInstagram、

火曜~土曜 9:30~16:00 (匿名の電話相談も可)

ココアプリでチェックしてくださいね♪

€ 横浜子育てパートナー専用電話番号

大倉山:045-547-1180

綱島:045-547-1182

子育て中の家庭、妊娠中の方が子育ての 情報を知りたい時、悩みを抱えている時など、 気持ちに寄り添いながら、必要な情報提供を したり、適切な支援機関を紹介します。

ふたごちゃん・ みつごちゃんの会

多胎児家庭のための プログラム。 親子でのんびり過ごし ながらおしゃべりを しましょう。

どろっぱ

父親とお子さんとで 集まってゆる~く話す



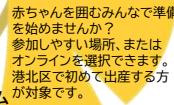
赤ちゃんを囲むみんなで準備 を始めませんか? 参加しやすい場所、または オンラインを選択できます。 港北区で初めて出産する方

外国につながる みんなのティータイム が対象です。

はなしをしたい。 ともだちがほしい。 にほんでくらすがいこくの ひとはあそびにきてください









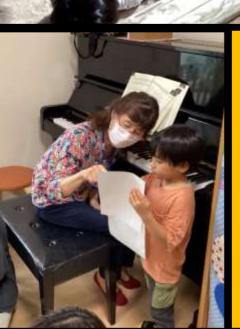






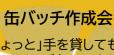












次回の開催は9・10月です。

〈2023 春・夏の風景〉

ボラリーグ☆こうほくの開催 活動期間:2023年7月24日~8月20日

今年度は子育てサロン、つどいの広場に加え、保育園の他、地域ケアプラザなど 高齢者施設の受け入れも可能となり、多くの場所で活動することができました。 延べ活動数は73回となりました。



オリエンテーションではどろっぷのインターン生が 中心となって進行。保育園の園長先生からは、保育園 での子ども達との接し方やボランティアに参加する上 での心がまえなどを話していただきました。

外遊びは猛暑やゲリラ豪雨に見舞われる中で開催判断に迷ったりとご苦労もあったか と思いますが、学生だけではなく、関わる周りの人も笑顔にする学生の力を感じました。

~参加した学生の声~ 地域ケアプラザで活動しました。高齢者の方と接する経験が あまりなかったので不安もありましたが、利用者の方やスタッフの方の温かいサポートの お陰で多くの学びを得ることができました。

~受入れ団体の声~ とても暑い一日でしたが、子ども達とプラ板作りや水遊びなど、 たくさん遊んでくれてありがとうございました。学生さんが子ども達に関わってくれた ことで、子どもだけではなく、親にとっても嬉しい時間になったと思います。 また遊びにきてくださいね!

みんなでつくる遊びのプログラム「ほっぷっぷ」どろっぷ・どろっぷサテライトで各開催

どろっぷでは、近隣の公園で活動している皆さんとのコラボ企画となっています。 「おひさまたんけんたい」は太尾町第二公園で開催している公園遊びで、シャボン玉やお砂場遊び、 フリマ絵本市など。CHANGEし隊(子ども服の交換会)や親も楽しめるワークショップを開催 している月もあります。「太尾公園つちのこプレイパーク」は太尾公園で開催しているプレイパークで、 シャボン玉、どろんこ遊び、夏は水遊びも楽しめます。木につるしたロープのブランコも大人気!



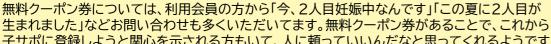
これからの季節は、日差しも和らぎ公園でも過ごしやすくなります。 外で風を感じながら子どもも大人も少しゆったりした気分で過ごしませんか。 ぜひ一緒に遊びましょう。

どろっぷサテライトでは、ひろば利用の皆さんができることを中心に、 ピアノ演奏、歌、手遊び、パネルシアターや絵本の読み聞かせなどの活動をしています。 毎月「どんな内容か?」は参加した時のお楽しみ! 参加は自由なので気軽に足を運んでくださいね。何かをしたい方の参加も大歓迎です。 参加した方からは「季節感ある歌や初めて知る遊びで親子一緒に楽しめた」と好評です。 みんなで遊びを通じて楽しいひとときを過ごしましょう。

横浜子育てサポートシステム新制度について

令和5年7月より、横浜子育てサポートシステム(※以下子サポ)の新制度がスタートしました。 子サポの利用料の改定、提供・両方会員の方に給付金の支払い、令和5年4月1日以降に生まれた お子さんを対象に8時間分の無料クーポン券の配布など、横浜市で初めての取り組みです。 今回の新制度は、全会員にとって充実した内容で、利用会員は利用料が500円(※)とこれまで

より300円安くなり、提供・両方会員は市からの給付金500円と合わせて活動報酬費が1000円 となりました(※平日の7~19時)。



子サポに登録しようと関心を示される方もいて、人に頼っていいんだなと思ってくれるようです。利用料金が安くなった ことで、子育て家庭にとって子サポの利用の促進と周知が高まったらいいなと思っています。

〈どろっぷに関わる情報発信〉

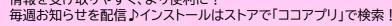
どろっぷLINE通信

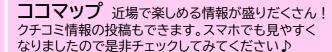
メールでお送りしている「港北区子育て 支援メールニュース」や

どろっぷ、認定NPO法人 び一のび一のから活動 内容や取組みなどの近況 をLINEで受け取れます!



子育て応援 ココアプリ 「岩崎学園情報科学専門学校」と 「港北区役所」と「港北区地域子育て支援拠点どろっぷ」が共同開発。 情報を受け取りやすく、より便利に!









横浜子育て

サポートシステム

子どもがまんなか みんなで子育て



港北区地域子育て支援拠点どろっぷは、主に0歳から未就学児・妊婦とそのご家族、地域で子育てを応援している方のための施設です。

開館日時: 火曜日~土曜日(隔月1回日曜開館あり)9:30~16:00 祝日・年末年始・特別休館日あり

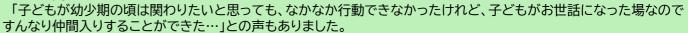
https://www.kohoku-drop.jp/



再開と再会 ~活動再開から見えてきた地域力の可能性~

新型コロナウイルスの感染法上の分類が「5類」に移行してから、地域行事 やイベント等も4年前とほぼ同様のカタチで再開してきています。 どろっぷも、地域行事に参加させていただいていますが、例大祭や盆踊り、 相撲大会なども盛んに行われ、どの行事も子どもたちをはじめ老若男女問わず、 多くの方が待ってましたとばかりに地元行事に参加する光景に何度も遭遇して きました。

乳幼児期にどろっぷで過ごしてくれていた親子との再会も多く、 「子どもは6年生になりました!」「今は子供会の役員をしているんですよ」 「子どもの手が離れて町内会の手伝いをしています」等の嬉しい報告を たくさん聞かせていただきました。



親子ともに活き活きと活躍する姿を見て、子どもが幼い頃は参加する側であっても、そこが入口となり、家族以外の誰 かと一緒に喜怒哀楽を体感することによって、子どもの成長をより一層感じられたり、地域活動に関わる方々の 想いを少しでも感じることで次の担い手へと循環できることは、継続した場があるからだと確信しました。 自分がもう一度関わりたい、戻りたいと思った時のタイミングで受け入れられる場が、自分の住んでいる地域の中に あるということは本当に素敵なことだな、とも改めて感じました。

また、当日の会場運営だけではなく、表面には見えづらい事前準備や事後片付けなどに加え、どんなことがあっても、 ゆるぎない姿勢で支えてくださる町内会自治会の会長や地域関係者の皆さまの懐の深さに感謝するとともに、若手の 地域人材を信じ「役割」を託していくプロセスにこそ、次世代への継承が確実になされているということも肌で感じられ る機会となりました。



この地域に住まう子育て家庭がこれからもこの温かい地域の輪の中に、 少しでも交じり合える接点を創っていくとともに、転入者の多い区である からこそ、今、自分たちの住んでいる地域が「第二のふるさと」だと意識づ けをしていける、そんな子育てのスタート時期を応援できる施設でありた いと思っています。

子育て家庭がお祭りや地域イベント等に参画することで、伝統行事や歴史 の奥深さを堪能できたり、地域の原風景を伝えていける魅力ある街だと 実感していますので、住んで間もない家庭にも、

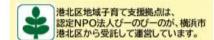
「この地域に住んで良かった」「これからも住み続けたい」 と思ってもらえるような、地域への愛着づくりに少しでも寄与していけるよ う力を尽くしていきたいと思っています。

【どろっぷ施設長 田之畑 有美】









横浜子育てサポートシステム 港北区支部事務局 TEL045-547-6422 (直通) 大倉山どろっぷ 受付: 火曜日~土曜日 9:00~17:00